

B 17 成人男子の体型に関する研究 —— 頸部形態について ——
実践オ大家政 ○飯塚幸子 湘北短大 武藤治子

目的 成人男子ワイシャツのパターン設計に際し、作図上の基礎データを得ることを目的とし、特に頸部形態について考察を試みた。

方法 20才から59才の成人男子700名の頸部に関係のある計測値 10項目、計算値12項目、示数値22項目 計44項目に年齢を加えて主成分分析を適用し頸部における形態要因を抽出した。

結果 1より大きい固有値は第11主成分まであり、累積寄与率は85.3%である、第5主成分までい61.3%をカバーするって、以下第5主成分までの要因をのべる。
第1主成分は、周径に厚径が加わり、からだのVolumeを現す
第2主成分は、頸の形状変化と年齢との関係を現す
第3主成分は、頸付根周囲周辺の形態を現す
第4主成分は、頸のつき方を現す
第5主成分は、頸の土台としての肩と胸部の形状を現す。